

第36期第8回理事会議事録

日 時：2011年11月16日（木）18時45分～20時00分

会 場：名古屋大学東山キャンパス豊田講堂（3階
第一会議室）

出席者：新野、藤谷、岩崎、佐藤(正樹)、徳廣、中
島、中村(健)、藤部、三上、余田、石原、
佐藤(薫)、塩谷、高瀬、竹見、中村(尚)、廣
岡、藤吉、安成、以上19名

書面参加者：経田、近藤、田中、黒良、郷田、須田、
藤村、山田、以上8名（理事現在数27名）

議 事

議事に先立ち新野理事長より2011年度秋季大会を
担当した中部支部に対して感謝の意が表明された。

1. 2012年春季／秋季大会の準備状況及び今後の担
当機関について

標記に関して準備状況を確認し、2014年度秋季大
会の担当が九州支部であることを確認した。

2. 公益法人移行に伴う新定款（案）等

公益法人移行に伴う新定款（案）等を全会一致で
承認した。また、新定款（案）等に対する会員への
意見募集を行うことも全会一致で承認した。

3. 第36期評議員会について

標記会合の開催について全会一致で承認した。

4. 2012年度事務局体制について

現体制の継続を全会一致で承認した。

5. 日本気象学会に対する損害賠償請求訴訟につい
て

標記訴訟の判決が確定したことが報告された。

6. 各委員会からの報告

気象集誌…2011年気象集誌論文賞の選定結果が報
告（3編の論文を選定）された。

SOLA…新しい投稿－査読システム（2011年10月1
日に移行）の運用状況及びJ-Stage3への移行
に関する進捗状況が報告された。

講演企画…2012年度春季大会の専門分科会及び

2012年度地球惑星連合大会における主催・共
催セッションを全会一致で承認した。

・2012年度春季大会の準備状況が報告された。

学術…「日本の気象学の現状と展望」の取り組み
状況が報告された。

地球環境…世界気候研究計画（WCRP）の現状と気
候研究の方向性が報告された。また、温暖化
出版事業について議論を行った。

気象災害…活動状況の報告。

7. 2011年度春季大会申送り資料について

2011年度春季大会実行委員会が運営マニュアル案
を作成したことが報告された。また、今後の大会運
営の方針案が提案された。

8. 各支部からの報告

2012年度秋季大会の準備状況について、北海道支
部から報告された。また、研究発表会やサイエンス
カフェ等の活発な活動状況について、各支部から報
告された。

9. その他

地球観測衛星の開発について、遅滞ない衛星計
画の遂行を速やかに要望するため、宇宙開発担当大
臣宛の「要望」（理事長名）を発出したことが報告さ
れた。

平成23年12月22日

社団法人日本気象学会

議 長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 徳広 貴之